



～第1回CLEM法ワークショップを開催しました～

CLEM法ワークショップ

本学のスマートコアファシリティ推進機構（スコップ）の中心的な機器システムである光-電子相関顕微鏡システム（CLEM）の利用促進を目指し、近隣国立大学の医学部の研究者、技術職員（参加者4名）を対象とした第1回CLEM法ワークショップを令和6年9月27日（金）に府中キャンパス内遺伝子実験施設にて開催しました。講師及び実技指導者として日本電子(株)アプリケーション統括部の技術者を招き、透過電子顕微鏡と光学顕微鏡の両方で同一試料台上に載せた超薄切片試料を観察するon chip CLEM法に関して原理（事前に質問を受け付け、その内容を踏まえた座学）、試料作製法から共

東京農工大学 スマートコアファシリティ推進機構
第1回 CLEM法ワークショップ

開催日：令和6年9月27日（金）
期間：13:00～17:00（座学）
会場：山梨大学 府中キャンパス 遺伝子実験施設内第1F W505
講師：日本電子(株)アプリケーション統括部

～ワークショッププログラム～

13:00 座学(10～45分程度) 遺伝子実験施設内第1F W505
CLEM法に関して、事前質問の回答を中心に、事前に質問を受け付けました。
[質問先: scoop@go.tuat.ac.jp (金)～(土)に必要]

13:45 実技(on chip CLEM法) 遺伝子実験施設内第1F W505

16:00 質疑応答

17:00 今後のCLEMシステム利用に関して説明
→利用方法、試料作製等の説明
(東京農工大学より)

17:10 終了

終了後、遺伝子実験施設内第1Fにて閉会式(閉会式は同僚のみ参加)を行います。
送別品ですが、ご参加感謝、致します。

お問い合わせ先: スマートコアファシリティ推進機構 事務局
TEL: 055-265-2822 / 265470
E-mail: scoop@go.tuat.ac.jp



日本電子(株)技術者による透過電子顕微鏡指導風景

開催案内

焦点レーザー顕微鏡、透過電子顕微鏡の観察方法、さらには高精度な画像重ね合わせの実習を行いました。実習後関係者と懇談の場を設け、各大学での電子顕微鏡の利用状況、利用にあたっての問題点等、意見交換を行いました。今回は実施しませんでしたステージリンケージCLEM法（光学顕微鏡と走査電子顕微鏡リンクシステム）に関して、次回以降の実施を予定しています。

～山梨大学医学部にて技術研修を受けました～

技術研修の狙い

令和3年に本学が採択されました文部科学省コアファシリティ構築支援事業では研究機器の共用化だけでなく、それらの設備機器を保守管理し、利用者支援を行うことが可能な人材を育成（スキルアップ、キャリアパス形成）することが大きなミッションになっています。今回、山梨大学医学部総合分析実験センターのご協力により、令和6年9月4日～5日にスコップの小菌 拓馬 特任助教を、解剖学講座構造生物学教室（小田賢幸教授主宰）に派遣し、装置技能の向上等のスキルアップ、技術者間のネットワーク形成を目指した研修を受けました。

派遣スタッフから～研修を終えて～

今回、山梨大学医学部の解剖学講座構造生物学教室にて、クライオ電子顕微鏡の試料作製技術や観察手法、データ解析について実習を交えた研修を受けました。また、教室内の他職員とも交流することができ、電子顕微鏡関連の試料作製技術や観察手法について意見交換を行いました。この研修で得た知見や経験を本学での研究支援業務に活かすとともに、両学間でのネットワーク強化や自身のキャリア形成に繋がりたい所存です。このような貴重な機会を提供して下さいました山梨大学医学部総合分析実験センターおよび解剖学講座構造生物学教室の皆様、この場を借りて心より御礼申し上げます。



山梨大学医学部キャンパス

スコップの共用機器をご利用希望の方は scoop-groups@go.tuat.ac.jp までお問合せ下さい。